

MitsuiSougou通信

冬の火災に注意！

冬は空気が乾燥するため、深刻な火災の発生しやすい季節です。主な火災の原因と対策を知り、自分や家族の命を守りましょう。

火災のピークは12月～2月

消防庁によると、2020年の火災による死者数は1326人。そのうちの約4割は、12月～2月に集中しています。冬は気温が低く、空気が乾燥しているため、暖房機器などによる火災が増える上、被害も大きくなりやすいのです。とくに住宅火災の原因に多いのが、「コンロの消し忘れ」。リモートワークが普及したことにより、「コンロをつけたままオンライン会議に参加し、出火してしまった」など、新たなケースも増えています。また、電子機器の増加によるコンセント周辺のトラブルや、モバイル充電器が原因となった火災なども増加傾向にあります。この機会に、まずは家の中で火災の原因になりうるポイントをチェックしてみましょう。もし問題が見つかったら、家族で情報を共有して、対策を話し合ってみてください。一人ひとりがしっかり「用心」することが、一番の防火対策になります。

火災のおもな原因は・・・

コンロ

火を使うガスコンロだけでなく、IH製品も火災の原因になります。もっとも多いのは「消し忘れ」。近くを離れるときは、短時間でもコンロを消しましょう。布巾やペーパーなど、燃えやすいものも遠ざけておきましょう。

暖房器具

とくに多いのが「電気ストーブ」による火災です。火を使わないので安全な印象がありますが、カーテンや布団、洗濯物など、燃えやすいものが接触すると発火の原因になります。外出や就寝時は電源をオフにしましょう。

たばこ

たばこには「無炎燃焼」という特徴があります。炎を上げずに長時間かけて燃え広がり、気づいたときには手遅れというケースも。喫煙は決まった場所で行い、かならず消火を確認しましょう。寝たばこはNGです。

モバイル充電器

近年、モバイル充電器によるやけどや火災が増えています。充電中のスマホや充電器は発熱するおそれがあるため、就寝時は体や布団から離れたところに置きましょう。また、充電器に膨張や過熱などの異常が出た場合は、すぐに使用を中止してください。

火災の発生と被害を防ぐために

コンセントや配線を見直す

タコ足配線や、コンセント周辺のホコリも出火の原因になります。定期的にチェックして清掃し、配線の交換や整理を行いましょう。

住宅用火災警報器を設置する

万が一火災が発生したときも、すぐに気づけば被害を最小限に抑えられます。「逃げ遅れ」を防ぐためにも、かならず設置しましょう。

防災品を使用する

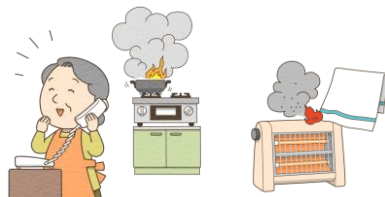
カーテンや寝具、エプロン、パジャマなどを燃えにくい「防災品」にしておくと、いざというとき引火による被害を軽減できます。とくに高齢者の方におすすめです。

消火器を準備しておく

火が小さいうちは、消火器で消し止められます。女性や高齢の方でも扱いやすい住宅用消火器を準備しておきましょう。

屋外での火の取り扱い

屋外でのたき火は、原則として法律で禁止されています。特に風の強い日や、乾燥している日は、小さな火でも予想以上に燃え広がる可能性があります。一部例外的に認められている焼却を行う場合でも、風の強い日は避け、消火の準備は必ず行いましょう。



安全運転アドバイス

安全な運転を継続していくためには、自分の運転を振り返り、交通ルールを守っているか、安全運転の基本を実践しているかなどをチェックすることが大切です。そこで今回は自分の運転を振り返り、今後の安全運転をより一層推進するためのステップとなるチェックポイントを挙げました。

□こまめにスピードメーターを見て、速度をチェックしていますか？

規制速度を守り、天候や道路状況に応じた速度で走行することは、安全運転の基本中の基本です。速度の判断を感覚に頼らず、きちんとスピードメーターを見てチェックしましょう。特に夜間や高速道路の走行時は速度感覚が鈍り、速度超過になりやすいため、より一層こまめにスピードメーターで速度のチェックを行いましょう。

□自分だけでなく同乗者にも必ずシートベルトを着用させていますか？

シートベルトは、交通事故が発生した場合の乗員の被害を大幅に軽減するとともに、正しい運転姿勢を保つことで疲労を軽減するなど、さまざまな効果があります。シートベルトを備えている自動車を運転するときは、運転者自身がシートベルトを着用するだけでなく、助手席や後部座席の同乗者にも着用させなければなりません（エアバッグが搭載されている自動車の場合も同様です）。

また、シートベルトは正しく着用しないと十分な効果が得られないため、乗員全員が正しく着用しているか確認することが大切です。

□短時間の駐車時でも、エンジンを切り駐車ブレーキをかけていますか？

環境省の「エコドライブ10のすめ」によれば、10分・間のアイドリング（エアコンOFFの場合）で、130cc程度の燃料を消費するため、短時間の駐車の場合でも、エンジンを切りましょう。



iDeCo(個人型確定拠出年金)とは、将来にそなえて自分で作る私的年金の制度のことです！

iDeCoとは、公的年金（国民年金・厚生年金）とは別に給付を受けられる私的年金制度の一つです。公的年金と異なり、加入は任意で、加入の申込、掛金の拠出、掛金の運用の全てをご自身で行い、掛金とその運用益との合計額をもとに給付を受け取ることができます。

節税しながら資産形成ができ、少額からでもはじめるので、投資経験がない方にも将来のお金の準備をする方法としておすすめの制度です。

公的年金と組み合わせることで、より豊かな老後生活を送るための一助となります。

三井総合保険事務所はiDeCoの加入手続きのお手伝いをしています。詳しい内容のご照会や資料請求など、お気軽にご相談ください！



資料請求はこちら

◆おいしいレシピ◆ ～豚バラ大根煮～

うま味のしみた大根が主役！

豚バラの旨みが大根にしみわたり、ご飯がすすむ一品に仕上がります。

【材料】2人分

・大根 400g ・豚バラ薄切り肉 100g
・長ねぎ(細切り) 20g ・ごま油 大さじ1
<A> ・だし汁 1カップ ・しょうゆ 大さじ2
・酒、みりん 各大さじ1 ・砂糖 大さじ1

【作り方】

1. 大根は1.5cm厚さのいちょう切りにする。豚肉は一口大に切る。
2. 鍋に油をなじませて豚肉を炒め、色が変わったら大根を加えて炒める。全体に油がまわったらAを加え、煮立ててアクを取り、蓋をして大根がやわらかくなるまで煮る。
3. 蓋を取り、途中で混ぜながら煮汁が少なくなるまで煮込む。器に盛り、長ねぎをのせる。

※煮汁を煮詰めるときに、途中混ぜながら焦がしてしまわないように注意して作りましょう。

